

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は縦密にする。

頁数[番号]	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (/)
224	212		
項目名			
じくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0776.88	fukunō < 絵で見ている >	
0873.94	fukurokū < mi ¹ ndzukū ない。目大きい >	
1859.84	fukuro: < 子供がうたまにいた。鳥にいわれた。今いない。 >	
2649.79	××アア (古)	アア
2731.97	××アア, } < どちらも同じものだ > アア	
2750.44	ミミアア, } < 同じものだよ > アア	
2764.28	torōdzige (= 水はあかいはあかすくの種類?), ōho Fukuro < 新 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(2)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2765.66	NR 同席の花女 Fukura	
2774.59	oho, ohōdori 〈jodaka(tori) とはうか? 同じわあかとうか、わかし?〉	
2782.16	mondzītaka (?)	
2785.74	ōho 〈古〉	Fukuro
2792.73	NR 〈memēdzigu は ちとす〉	
3715.51	o:ho: (大きな種類は o:ho:, 小さな種類は mimi ^d ziku ^{tu})	
3727.21	[ノスケ]	
3737.32	ノスコ 〈古〉	220

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		(B 除いた共通語)	
ふくろ		(C 除いた特殊語)	(3)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3741.16	noro ³ zuke e は狭い	
3754.76	NR < 見たことなし >	
3791.02	fu ³ kuro ④ ho:ho: < 3 >	
4644.10	mi ³ mizuk ³ < とはい言わない > [[フロ-のことミミスグと言う]]	
4652.79*	fu ³ kuro はじめ mi ³ mizuk ³ と答へ。 「身は見えないのですか」といって。 fu ³ kuro と答えた。	
4653.02	fu ³ kuro ³ : < 一般には mi ³ mizuk ³ とき、 区別しない >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(4)
じくろう		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4653.47 NR	mimizukku } fukuro } と答えたか 見たことか ないと言って訂正した。	
4654.52 *	mimizukku ? (はいめ fukuro と言い、後、 訂正した。調査者はこの鳥には 立った羽はないことを説明したか、 やはり mimizukku と答えた。 しかし 疑わしい。) 〈猫のような顔を (2112. この辺にも居る)〉	
4659.01	nodzuke これの 普通に使われるし。し。	fukuro, nodzuke hoje
4663.06	jotaka これを多く用いる	fukuro
4663.49	jotaka [小木町宿根本は フクロも ミズクも mimizukku という] し。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4672.19	?jotaka(?), } (被調査者は このどちらか合らなしか ?mimizukui(?) } あるいは jotaka かも知れぬ と言った。被調査者の孫(高校生) は mimizukui だと云った。 (佐治百科事典原稿には みみずくいヨタカと言 とある。)	
4676.42	?フクロー, ?ミミスク	
4685.28	fukurodori <古>	fukuro
4694.95	fukuro kaga 戯しがある。	
4710.18	sagebi <雄> <なほは体か小さい>	fukuro
4711.42	tetepoppo: <かなり新>	hoho

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は破密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
224	212	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(6)
ふく33			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4721.36	füüguro 〈英〉	tédéppoppo
4722.40	mimidziku 〈新〉, hukuro 〈新〉, dedeppoppo: 〈古〉	
4736.63	φukuro 〈二島にもいた〉	
4741.43	tétéppoppo: [hukuro:]	φukuro,
4742.43	ho: hotori (225の傾向ありと推された語形)	φukuro tori
4751.42	nuridzüügé 〈古〉	füüguro
4760.64	netsüüké ho: ho: (鳴声で、鳥の名とは言い難い。)	füüguro

しかし「ネツケホーホーエッタ」といえば:

「フコ-が鳴いている」の意にならぬ。鳥の名ともいえる。）

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

収録番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (7)
224	212		
項目名			
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4760.98	fuikuro <多>	!ho:ho:dori
5508.19	NK <居ないよた>	
5569.36	ミミジク (ミミズクではない)	フクロ
5577.06	?ミミジク, フクロ <体の大きい>	
5597.26	?ミミズク	フクロ
5602.99	fuikurojo <古>	fuikuro
5608.51	bo:ho (擬声を名前に用いたものか)	
5621.43	fuikuro 2交目の発音	fuiguro
5623.27	fuikuro (あまりないし)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8)
224	212		
項目名			
ふく			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5623.85	ho: hon < nagimoto をほ 地名にして、 ho: hon 鳴いた! >	huguro
5625.91	φukuro [φukurodori]	
5628.70	ホオホオ < 多く使う >	ゴハエスツ
5629.17	フクロオ } < 両者を区別していない > ミスツ } < むしろミスツという言葉が多い >	
5629.23	ホロスケ < 古からの言い方。現在も多く使う >	
5629.98	ホロスケ < 古 >	
5631.75	hukurjo: < 古 >	hukuro:
5636.74	ホロスケ < 古 >	フクロオ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(9)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5638.67	ミスク, 普通はミスク。それを略して スク スクとも言う。	
5639.13	ミスク } <当地では両者の区別がない> フクロ	
5639.80	ホオホオ <古>(啼き声から名付けた のようである。)	
5648.13	zukuwambo: <希>	zukuw
5649.53	NR そのような鳥を見たことかない。	
5653.08	NR <思い出せない>	
5658.01	? ミスク <現物を見たことかない>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁目番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(10)
ふくら		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5658.54	ミヌク, ゴヘドツリ 〈あまり見かけない。両者の区別は 合らない。〉	
5658.89	ゴオヘエ 〈古〉	フクロオ
5659.42	ミヌク 上記にはフクロオはいない。	
5659.46	ミヌク 同上	
5659.78	ホオホオドリ 〈古〉	
5664.58	? ホオズ、コ	フクロオ
5667.08	? ホオホオドリ	
5667.24	フクロ 〈新〉, ホオホオドリ 〈古〉	ホオホオドリ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(11)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5668.38	フクロ 〈 当地ではフクロとミスクとを区別していない 〉	
5671.68	horosuke 〈 子 〉	fukuro
5672.75	[horosuke] 〈 俗に言う 〉	Fukuro:
5673.78	jotaka 〈 多 〉	horotsuku
5675.87	フクロ 形が大きいもの, ミスク 形が小さいもの	
5677.14	mimidzuku 「みみずく」ではない鳥だといいたか どうしてもこれは「みみずく」だと 考えた。あとで念のため「ふくろ」 をたずねてみたが、「ふくろ」とは あまり言わない。との返事だった。	

- ▶ A・[B]・[C]などに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔 〕は厳密にする。

資料番号 224	地図番号 212	④ 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(12)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5677.28	フクロ, ミスク } $\left\{ \begin{array}{l} \text{2種の鳥ともいし、1種の鳥ともい、} \\ \text{決めかねる。うわさでは フクロか鳴} \\ \text{<という> <いずれにしてもこの鳥は見た} \\ \text{ことはない。>} \end{array} \right.$	ホオッホオッドリ
5677.60	フクロオ <多>, ゴハイドリ <小川周辺地方>	
5677.85	メズク <普通>, フクロウはメズクはオ。 フクロウ... $\left\{ \begin{array}{l} \text{これは若い人が用いる。但し、この鳥は} \\ \text{夜明けにキウ、キウと鳴く。} \end{array} \right.$	
5678.33	フクロオ, ミスク 同いもので、区別がないとの答。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

頁目番号	地図番号	① 普通注記	ページ
224	212		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(13)
ふくろ		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5678.59	ɸukũro: , mĩmĩzũku	〈ɸukũro: aとを mĩmĩzũku と言う〉(左よりの発音のため) 被調査者はこの両者の違いに 気付いていないため。ɸukũro: を反応としていうのではない。)
5678.71	? mimidzuku	みみずくと区別はつかないらしい。
5678.86	ミスク	〈フクロは標準語。 この地では ミスク。〉
5679.86	xkũro:	(荒) xkũro: mĩmĩzũgũ
5680.34	nõritsuke	『nõrisuke』 I / リスケ
5682.37	# jotaka ?	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5684.26	[horotsuku] 〈古〉	Fukurottori
5685.37	φukuro: 〈みみろくにも こうふ〉	
5686.15	^講 φukuro: 〈多〉	mimidzuku
5686.31	gohè:dori 〈大きい方の種類〉, φukuro: 〈小さい方の種類〉	
5686.67	ミミスク, } 普通 スク, フクロウ (調査者の発問により 言うかも知れないとのこと)	
5687.32	{ フクロオ, ミミスク, } (両者同じらしい。みみろくか鳴くと 言っている。動物学的知識がないので 混成できなかったのだか。 ホオク 〈普通〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
224	212		
項目名		[B 除いた共通語]	(15)
ふくろ		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5687.86	ミスク (ふくろとの区別を質問したか?) 区別がないらしい。	
5688.37	ミスク 被調査者はこの2種類を区別 フクロ しなかった。この島は余りいない とのこと。	
5688.74	hukuro: , } 〈両者の区別は知らない〉 mimidzuku	
5693.13	フクロ 〈共〉	ゴ ^h ロ ^h フ ^h ヨ
5694.82	*フクロ (この絵を見てミスクかフクロかの 区別がつかない。)	
5696.54	*fukuro: 〈耳なし。mimidzukuは耳がある〉 hotsukko: 〈啼き声からこう言うこともある〉	mimidzuku

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記	ページ
224	212	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(16)
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5697.53	mimi ^z ku } 〈同じもので、姿を見た時には hokuro } 〈このれかを使う。〉 ho:tsu ^z ko 〈姿を見ずに 鳴き声を聞いた 時など。 ho:tsu ^z ko ga naiteru と言う。また この鳥の 鳴き声も ho:tsu ^z ko と言う。〉	
5698.54	mimi ^z uku (ふくろもみみずくも区別しない)	
5699.25	fu ^z ku ^o : 耳つぐのこと と言う。	
5720.71	ホロスケ この方が 普通の 言い方。	ミミスク
5730.71	ホロスケ 〈多〉	スツ
5740.43	ホロスケ 〈多〉	フクロオ
5741.25	hokoro 〈この方が 希〉	horosuke

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(17)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5741.66	horosüke(me) 「め」は希につく。	
5750.30	ホオホオドリ 〈新〉, テレスケテンバエ 〈古〉	
5750.31	!テンバエ 普通	ミミアク
5750.84	テレスケテンバエ 〈古〉, ネコドリ 〈古〉	
5760.57	dereskedembe (誘)negodori	
5771.36	[negodori]	
5771.42	{ xüügüro: pompondori, po:po:dori, ho:ho: dzüügü, jodaga	(誘) negodori, () gorattoho:go

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
224	212		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
ふくろ		〔C 除いた特殊語〕	(18)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5772.60	ho: ho: dori 〈子〉	nekodori
5780.11	dzüügü 〈普通〉	{ xkro:, negodori }
5780.62	(?) dzukku (みみすくなどとの区別をたてたが、被調査者はその区別を知っていない。)	
5791.23	zukku (耳のある物とない物の区別はしない)	
5792.62	dzüügü 〈耳くもスグのうさ〉	
5793.74	zuyuu (みみすく、ふくろ) の総称)	
6287.71	nekodori (ri は 1 に近い), simojobi 〈冬鳴く時は simojobi がなく という。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買 置 番 号	地 図 番 号	① 普通注記	ページ
224	212		
項 目 名		(B 除いた共通語)	(19)
ふくろ		(C 除いた特殊語)	

地 点 番 号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6296.27	? Fukuro:	
6357.74	1474 ホイソ 〈古〉	ヨスツ
6383.77	neko'dori 〈普通〉(ネコトリとは恐らくミミツ のこたろりの被調査者は区別 で左のように使うと主張する。)	フクuro:
6385.98	7177 〈多〉	ミミツ
6395.61	fukuro: ① fukutsūku	
6405.95	gorokuto 〈古〉, Fukuro 〈新〉	
6407.43	7707 石黒著 フク	
6414.17	gorokuto 〈多〉	fukuro

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買置番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(20)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6415.80	fuukuro 〈新, 少〉	gorokuto
6422.77	ヨス? 〈古〉	???
6423.23	jozoku, jotaka, gorokuito } 同いものと思う。	
6423.75	gorofuto 〈古, 多〉	jozoku
6424.20	jozoku 〈昔より多く用いる〉	Fuukuro
6436.57	???, ミミ? } 〈両者の違いは此雄雄のちの た?か?〉	
6439.17	nekodori 〈昔〉(学校の先生によるとこれはミミ? のこと。)	fuukurodori

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は濃密にする。

頁目番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろう		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(2)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6441.71	ヨスク → みみづくうこか? 本人も不明と云う。	ホリツキ
6443.03	jotsuku, } <同じものと思ふ> jotaka }	
6449.19	ツド <新> ミスク <新>	ネコドリ
6453.64	ツルツク <普>	ツドオ
6455.31	phi ³ kuwo mimitsukku (はマン(雌)F.)	
6459.87	ミミツク <古>	ツドオ
6464.77	ミミツク, } <同じ鳥で所> ツド }	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
項目名 ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6465.82	{ フクロ, ミミツク } 〈 同一鳥である 〉	
6467.73	furutsüku ① fukuro	
6469.19	ミミツク 〈 これが総称で、フクロとフクロを区別をもっていない 〉	
6474.83	フルツク (不在らしい。殆んど見ないといふ)	
6479.51	ho:ho: 都志百歳 又は hoi hoi	
6479.95	フクロ 〈 上 〉 * ミミツク	
6481.56	フクロ フクロのふたろうが当地にはいない。	
6485.82	フルツク 〈 色々種類があつたため、まとめてこの語 〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (23)
224	212		
項目名			
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6486.07	フクロオ, 町家住居で十分知らず。 〔#〕フィルツク 総会上で落えている。	
6486.50	ムキウラシ フィルツクのあたなである。妻の 熟する前になくから いう。	フィルツク
6486.93	{フィルツク〈古〉, {フクロ〈新}	
6487.43	[オトク]	オトクドリ
6489.01	フィルツク 〈古. 希〉	フクロオ
6489.27	NR... [フィルツク] # ミミ...	
6491.49	mimizukku (海岸部の大浜部落では。 Furutsukku といふ。この方 では一般にミミ方を(228。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買附番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(24)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6505.60	fukuroku (「晩ホエル鳥やて」といふ。 「鳴く」ではないらしい。)	
6509.91?	ミミスク	フクロ
6511.85	fukurodori 〈希〉	fukuro
6516.10	ホクロ 〈古〉	{ フクトリ, フクロ
6516.15	? ミミスク	フクロ
6519.67	? ミミスク	フクロ
6528.06	mimizukku (ここでたずねているものは「頭の丸い」 ものである点を重ねて説明し。 更に、共通語では mimizukku は 「頭の丸くない」ものをさすかとたずねた 結果の反応である。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(25)
ふくろ		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6529.88	hukuro 〈gorosyke という語もあるが あまり一般的でない〉	
6532.30	フクロ 〈少〉	フクロ
6536.39	#mimizuku 〈当地方にはいない〉	
6537.21	フukuro 〈普〉, hokoro 〈地〉, hokuro 〈地〉	
6539.12	gōrosūike 〈〔右〕〉	フukuro
6539.78	goros-ke 〈右〉	フukuro
6542.58	→ 沢夏へ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
ふくろ		〔C 除いた特殊語〕	(26)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6542.58	フクロウ, フクロ (絵を見せると、フクロウ(ウ)と発音し、「このフクロは……」という説明の段になると長音化しない。三交きき返したか、本人は自覚していない様子。)	
6545.41	hukuro < hukuro: と長音ではない >	
6545.64	gorosuke < 古 >	fukuro
6548.02	hokuro < [他] >	gorosuke
6560.40	フクロ < 新, 共 >	ミミフク
6563.84	fukuro < あまりない鳥だ >	
6571.15	フクロ (フクロオではない)	
6572.97	hoihoidori 稀	furutsuku

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(27)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6575.66	hukurodori 〈鳴き声を転用して deji hoji と いうこともある。〉	
6580.66	# フルツク 〈フクロオとも言う人がある〉	
6581.52	フルツク 〈昔から普通に使っていることは〉 ミスツク 〈上品なことは? 希〉 ホイホイトツク 〈こういう人もあり、自分もときに使う〉 (ミスツクは別種であろうか、被調 査者は上品なよいこととは考えている。)	
6582.73	フクロ 〈共〉	フルツク
6586.32	φukuro (共), *gorosuke	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (28)
224	212		
項目名			
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6591.02	フクロ < 英 >	フルック
6595.32	フルック < 昔 >	フクロ
6603.82	フクロ < 小 >, ゴロイチ < 大 >	
6604.60	ゴロイチ < 古 >	フクロ
6605.84	フクロ (ミミズクの区別はあきらかに) スク	
6607.68	mimizuku. < これは別の鳥 > *fukuro:	
6608.69	mimizuku (確かにフクロのことをいっている)	
6613.77	ゴロイチ < 古 >	フクロ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (49)
224	212		
項目名			
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6618.25	# mimi ⁷ zuku, * goro'suke (これを採用) <small>と、あるが、地図には 二者併用にならず</small>	
6618.46	古) ホオホオ	フク
6620.53	Fukuro < 福んぼおん >	
6621.57	genzi 古	hukuro:
6621.94	mizuku (みみずくではない)	
6622.69	gorottsi < 昔 >	φukuro:
6624.65	goro'tso 多 < 言 >	hukuro:
6629.98	φukuro < 新 >	φu:ro
6630.82	okumbo みみずく φukuro:	
6631.69	goro'tso: 多	hukuro:

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		(B 除いた共通語)	(30)
ふくろ		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6634.32	gōro'tʃo 〈多〉	hukuro:
6641.43	gōrosuke 〈小まいのを okurbo という〉	
6643.16	gōro'tʃo ほとんどいない	
6643.72	希 gōro'tʃo 鳥かいない。	
6650.79	#gōrosuke 〈フコウは知らない。見た事がない〉	
6652.77	hokuro 稀だ (殆んど居ない)	
6656.31	Fukuro 〈めったにいない〉	
6662.38	hukuro こくすい	
6677.70	mindzuku, --- 〈両方とも使う。新・古は不明〉	
	kūrukutto: 〈こくすいは鳴声から名付けたもの〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は黒密にする。

質問番号 224	地図番号 212	④ 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(31)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6711.16	(?) ϕ_{ukuro} :	
6721.31	ϕ_{ukuro} 〈希〉	joro:
7237.67	NR (伊崎では nekodori)	
7238.40	nekodori 〈体大〉	toppodori
7238.82	nekodori 〈冬のみみすくをいっやではないか〉	toppodori
7239.24	do: kodori 〈 \langle どとどと \rangle の \langle 湯をわかす所を do:ko といい、それと顔が似ているから、こう言う。 \rangle	
7246.45	nekodor みみすくをもさす。	
7248.15	ko: zudori nekodori はみみすく。	
7257.94	nekoro (d-r a 誤り)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買収番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふく33		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(32)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7266.09	nekodoi 〈古〉	
7266.60	nekodori (nekodol と 77301)	
7268.87	koppo:dori 〈希〉	nekodori
7269.51	fukuro: あまりない	
7279.01	ネドリ (古) 耳があるほどフコオ、ネドリを 言い分けることもある。	
7309.37	fukurotsükku [furuutsükku]	
7312.83	{ moma (多), torokusô kui (多), ko:zo (多)}	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 224	地図番号 212	④ 普通注記	ページ
項目名 }. < 3 }		〔B 除いた共通語〕	(33)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7316.65	jo ¹ d ² uku (?) ミヅウとウ区別不明。	
7320.59	ko:zo: < 「ko:zo: ko:zo: kano kuso ku:zo:」と鳴く、と子供のころ おとなから聞かされおどされた。 >	
7323.17	nekodori (ヤウ)	
7325.57	fu:kuro < 吳崎には鳥かいない >	
7329.39	mimitsukku (?) (手塚の資料では長浜でも Furutsukku の使われている。)	
7332.52	feretsukku と言った痕跡がある。225参照(集) kō:zu	
7338.48	Furutsukku (catsu も tu ではない。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (34)
項目名 ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7341.42	hukuro: (ドオコオとい)が今は使わないか きたことはある)	
7342.76	ko:zuu < ko:zuu: ko:zuu: hanakuso toruka と子供の村よくきたもた >	
7343.76	ko:zü あまりいない	
7346.58	? ko:zu	フクuro
7350.96	kappondoi <子>	{ do:ho, do:hodoi
7351.09	ko:zu-dori <コーヤーなし>	
7352.38	ne kodori <みみすく > kappodori <ふくろ > } かと思ふが、はっきりしない。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 224	地図番号 212	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (35)
項目名 ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7352.61	コオスドリ, 〈みみすくも同様にい〉。 コオス 〈ネコドリとはいわない。〉	
7353.51	コオヤオドリ, 〈ふくろ}の区別は全く不明〉 コッポドリ, 〈みみすく〉 ホッポドリ	
7355.81	ko:dzu 〈古〉	fukuro
7356.70	fu'kuro 〈多〉	neko'dori
7356.98	desi:kofsi (ミスクかも知れない?)	fukuru'dori
7357.31	ko:zu' 〈古〉	fukuro'?
7357.64	[neko'dori] 〈然り。これがふろ〉	
7362.42	コオヤオドリ [〜と] (みみすくはネコドリという)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
224	212		
項目名		(B 除いた共通語)	(J6)
ふくろ		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7363.85	コオヱオド <small>リ</small> 〈ヤヤ古、昔は優聲であったか〉	{ネコドリ, フクロオ
7364.34	ネコドリ, コオヱオ	(みみずく}の区別はしてない。従って答も) ふくろ } その区別が明確でない。
7365.67	fu:kuro 〈普通〉	ku:ku:dori
7366.87	fu:kuro 〈新〉	{nekodori, rejikoji
7367.25	moma 〈古〉	fu:kuro:
7372.03	フクロオ, トコドリ 〈希〉	{ 〈ウツノ古いが新しうか 不明。〉
7374.75	コロケトコオヱオ (希)	{コオストリ, ネコドリ, #フクロオ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (37)
224	212		
項目名			
ふく33			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7375.37	{ko:zodori <古>, okubodori <古>	nekodori
7375.71	ko:zo: <古>	Fukuro
7375.96	hokubodori 啼声/hoku hoku/と形容する ところから来り。	
7376.62	kappodori <人により"kozudori"ともい>	
7376.68	nekodori [多]	jotaka
7377.27	? re'si:kofj	
7377.72	nekodori <多>	jotaka
7381.38	#<?> ホッポドリ	
7381.97	モンキドオリ(古)	ネエコドリ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 224	地図番号 212	④ 普通注記	ページ
項目名 ふく		〔B 除いた共通語〕	(38)
ふく		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7383.98	コオゾオドリ 〈?・希〉	{ ネコドリ, ホオホオドリ
7386.56	# fukuro: (昔使っていた方言名があるらしい 様子だから、思いよせない)	
7390.26	# 〈?〉 ホコ、ホコドリ 〈?〉 ヨコエ ハコ、ホコドン	
7391.01	ネコドリ 〈コオゾオ とは いわない〉	
7392.33	# 〈?〉 ネコドリ } 〈区別が(おきり)しない〉 〈?〉 コオゾオドリ	
7392.45	ネコドリ (?) } 〈同じものである〉 コオゾオドリ (?)	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (39)
224	212		
項目名			
ふく33			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7400.15	desikosi 〈番〉	hurutsukku
7403.16	Fukuro 〈上〉	Furutsukku
7407.24	# Fukuro: 米三番の言を聞いて認めた。	
7416.34	joTaka 〈50年山に行くと、正体を見たとはいない。〉	
7423.80	[Furutsuku]	Fukuro:
7427.90	furutsuku 〈フルツク 三番の子とは 器量の悪い女の子をいう。〉	
7430.80	Furutsukku 〈古〉	Fukuro:
7436.68	[Furutsuku]	Fukuro:

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] [] は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふく3		[B 除いた共通語]	(40)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7450.20	desikosi < desikosi ga naki jomu >	Furutsukku
7461.77	φūrūtjuku < de'jikosi o mo shiranai >	
7513.15	誘 φūrutsuku	φūkūro
7513.69	フク < 共 >	フルヤク
7659.31	ku:ku:me < 兎 >	tsukume
8239.31	negodoi < あまり見かけぬ >	
8300.11	ネコドリ, < コオソオ とは ちがなひ > フクドリ	
8301.76	ネコ <small>フ</small> < 古 > < や、古めがしい >	フク <small>フ</small>
8302.19	{ フクロ, < コオソオドリはもと大きい鳥である。 > ネコ <small>フ</small> } コオソオコオソオトロスコトトトト	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	① 普通注記	ページ
項目名 ふくろう		[B 除いた共通語]	(41)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8302.55	フクロ 〈新〉	ヨシコドリ
8302.91	ネコドリ, 〈? コオゾオドリとは言わない。〉 [ネコドイ]	
8303.70	{ フクロオドリ, (被調査人は フクロオ } の区別が ネコドリ (?) (ミスワ) 不明.)	
8303.84	ネコドリ, } 〈同じものである〉 コオゾオドリ,	
	〈?〉チヨホカスケ 〈上の=者よりやや小さい〉	
8304.66	josuppo, 〈鳴き声から来た名前:〉 fukuro 〈身のあるのはネコドリと云う〉 (みみず)	
8305.76	fukuro 共	jofika(dori)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (42)
224	212		
項目名 じくさう			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8306.42	jotaka < 普通 これを使うと思う >, josika < 啼き声で呼び名 >, < korotto ko:zu は みみずくのこた > と思う >	
8311.41	? koykodoi < 古 > (オ三着認める)	
8312.33	nekodoi < みみずくの方はヨシカと呼び >	
8315.42	kozui 多くいう	kasuppe
8316.20	ko:zo: < 古 >	Fukurodopi
8324.83	josikodoi < この方を多く言うと思う >	tokkodoi
8325.77	pompomdori < 昔 >, hohodori < 昔, 現在はじちるを使うようだ >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (43)
224	212		
項目名			
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8332.84	josika (試みに30才の被調査者の息を呼んでたずねてみるとこの人は tokko だと答えた。)しかし、被調査者は josika の答を主張した。	
8333.03	tokkwo, } josika } <同じものだろ。不明>	
8333.79	tokkwo <とて食おじ という義>	
8334.63	tokko, } josika } <共に昔より使った tokko の方がいふ人多く使ったと思う。>	
8345.18	hohodori <子>	ko:zu
8345.24	ko:zu 「みみすく」と区別しない。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (44)
224	212		
項目名			
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8345.74	Fukuro 〈共〉	# kōzu
8350.68	kokkodoi 〈古〉, Fukuro 〈新〉	
8351.07	tokwo 〈 <u>取って食おう</u> と意識形〉	
8362.34	jōjikuroji なき声から来た語。	
8363.51	jōjikuro 〈多〉	tokko:
8373.43	fukuro ⑤ fukuri ~ fukurju	
0237.79	majats'ikuFu, } =つを区別なく用いる。 ts'ikuFu ← (本来は上段の方はみみずく 下段の方がふくろで いた)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
224	212		
項目名		[B 除いた共通語]	(45)
ふくろ		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0247.56	majatsi'kuFu, } <二つを区別せず使う> tsi'kuFu <希> } (本来は上段の如くみみすく 当ると思われる。)	
0256.08	mja:'tikoFo <みみすくもふくろも混同に使う>	
0256.76	mja:'tu'ko <ミツクもツロもこうい>	
0256.89	mja'ku'ko (同上)	
0276.50	mintsi'ko <みみすくにもこの語を使う>	
0294.66	mja:tsiku <みみすくと同名>	
1251.73	(?) maja:zikuku <みみすくもふくろも総称 に言う。zikukuなどとは いうことははない。>	
1251.98	?dzikuku <島にはツロオはない>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 2/2	① 普通注記	ページ
項目名 ふく33		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(46)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1260.87	(?) maja:dzik'uk'u < みみすく ^{ふく33} を 区別しないと言う。 > (他の方言では maja:dzikuku は みみすく ^{クニヒ} 。)	
2067.52	sikuguru < みみすく……minsikuguru >	
2141.61	? ko:jatulz	
2141.71	? ku:itulz	
	以上	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 224	地図番号 212	A 普通注記	ページ
項目名 ふくろ		B 除いた共通語	(/)
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5629.23	フクロオ <新>	ホ'ロスケ ^{古くからの言い方で、} 現在も多く使。
5629.98	フクロオ <新>	ホ'ロスケ <古>
5639.80	フクロオ <新>	ホ'オホ'オ <古> (啼き声 か'ら'あ'い'は'た'あ'う て'あ'る。)
5653.65	Fukuro: <共>	horotsuku
5659.78	フクロオ <新>	ホ'オ・ホ'オドリ <古>
5667.24	〔フクロオ・エドリ〕〔古〕	{ フクロ <新> ホ'オ・ホ'オドリ, ホ'オ・ホ'オドリ } <古>
5671.00	Fukuro: <共>	jodaka
5672.67	Fukuro: <新>	gorosuke

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
224	212	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(2)
ふくろ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5733.02	φukuro: [新]	horosūke
5750.84	フクロオ <新>	テレスケテンベニ <古> ネコトリ <古>
6498.61	Fukuro: <新>	Furutsuku
6583.93	<若い者は> φūkuro	φūrutuku
6592.10	フクロオ <共>	フルツク
6625.17	hukuro: 新	gōro'tso
6631.53	hūkuro: 新	gōrosuke
6635.54	Fukuro: 希	gōro'tso
6641.39	hūkuro: 新	gōrosuke

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
224	212	[B] 除いた共通語	
項目名		[C] 除いた特殊語	(3)
ふく3)			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6642.58	hukuro: 少	gōro'tso
6650.70	Fukuro: 〈新〉	{ derosuke, gōrosuke
6652.30	hukuro: 新	gōrosuke
6655.87	Fukuro: 〈希〉	gōrosuke
6702.21	φukuro: 〈新?〉	mimizūku
7266.09	Fukuro: 〈新〉	nekodoi 〈古〉
7279.01	フクオ (新)	ネドリ (古) 取あはなして フクオ、ネドリを言い 分けることもある。
7357.64	φu'kuro: 〈新、共〉	{nekōdori} 〈ネリ、ネドリ〉

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
224	212	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
ふく			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.27	フクロオ <共>	ネコドリ
7372.96	[コオゾオドリ] 本人は石確認せず。	ネコドリ
7374.15	([コオゾオドリ])	{フクロオ カラクタコゾオ
7403.21	Fukuro: <上>	Furutsukue
7411.27	hukuro: 共	Furutsukue
7451.77	Fukuro: <共>	Fukutsuku
7500.43	フクロオ <共>	フルク
8301.19	フクロオ <希>	コオゾオドリ
	以上	